



まなびかんニュース パソコン道場

まなパソコン道場

第43回

紙面記載の画面は
Windows7+Office2013
操作環境によっては表示
が異なる場合があります

白帯級
初級レベル

茶帯級

中級レベル

黒帯級

上級レベル

黒帯級

Excelだけで連続印刷(全2回)

下準備編・VBA編

| | A | B | C |
|---|-------------|---|---|
| 1 | 1 | | |
| 2 | 238-0023 | | |
| 3 | 横須賀市森崎1-2-3 | | |
| 4 | 生涯 一郎 | 様 | |

Sheet1

同窓会のお知らせ

A4版送り状サンプルを用意。

| | A | B | C | D |
|---|-----|--------|----------|-----------|
| 1 | No. | 氏名 | 〒 | 住所 |
| 2 | 1 | 生涯 一郎 | 238-0023 | 横須賀市森崎1-2 |
| 3 | 2 | まなび 恭子 | 238-0046 | 横須賀市西逸見町 |
| 4 | 3 | 現役 靖 | 240-0105 | 横須賀市秋谷500 |
| 5 | 4 | 綾久瀬流 武 | 238-0048 | 横須賀市安針台4 |
| 6 | 5 | 美子 | 146-0082 | 東京都大田区池上 |
| 7 | 6 | 早苗 | 104-0042 | 東京都中央区入船 |

Sheet2

No.、氏名、〒、住所の順に住所録を用意。参照範囲:Sheet2!A2:D9

別シートの住所録データを流し込み、Excelだけで連続印刷したい!

「差し込み印刷か?」と思われるだろうが、今回は「まなパソコン道場」初となるVBA (Visual Basic for Applications) で処理するぞ!

まずは左図のようなSheet1(送付状)とSheet2(住所録)を作成して下準備をし、次回(2017年2月号)では、プログラムコードにチャレンジじゃ!

1 Sheet1の設定。セルA1=1、セルA2~A4は以下を入力。

セルA2(〒の欄) =VLOOKUP(\$A\$1, Sheet2!A2:D9, 3, FALSE)

セルA3(住所の欄) =VLOOKUP(\$A\$1, Sheet2!A2:D9, 4, FALSE)

セルA4(氏名の欄) =VLOOKUP(\$A\$1, Sheet2!A2:D9, 2, FALSE)

書式は、=VLOOKUP(検索値, 参照範囲, 列番号, 検索方法)

*検索方法でFALSEは完全一致、TRUEは近似値

| | A | B |
|---|-------------|---|
| 1 | 1 | |
| 2 | 238-0023 | |
| 3 | 横須賀市森崎1-2-3 | |
| 4 | 生涯 一郎 | 様 |

セルA1=1に対応した1件目のデータ:生涯 一郎さんが反映された。

セルA1には検索値として住所録データと同じ1~8のNo.のうち、最初の1を入れた。この値をもとに、A2~A4にはSheet2の該当する〒(3列目)・住所(4列目)・氏名(2列目)が表示される。

Sheet2には特に設定はない。今回はお試しなので、データ件数は8件で十分。これらを自動で流し込み、連続印刷する。

補足

左のVLOOKUP関数の参照範囲(住所録)はSheet2!

A2:D9だが、データを増減した場合は作成した参照範囲に合わせてSheet2!A2:D9の変更を忘れないように。

例:150件の場合 Sheet2!A2:D151

2 ここで「名前を付けて保存」→ファイルの種類を「Excel マクロ有効ブック(*.xlsm)」で、ファイル名は任意でよいが、今回は連続印刷にしよう。

次回コードを実行するために、[ファイル]→[オプション]→[セキュリティセンター]→[セキュリティセンターの設定]→[マクロの設定]→[警告を表示してすべてのマクロを無効にする]にチェックを入れ→OK。これで準備完了じゃ。

